



CLN

## 世界文学・語圏横断ネットワーク

### 第6回研究集会

2017年3月28日（火）

会場：東京外国語大学 研究講義棟2F 226教室

10:30-12:00

国重 裕（龍谷大学）

亡命体験と声の記憶——ベトナム出身のフランス語作家たちを例に  
マリー・ノエル・ボーヴィュー（リヨン第三大学大学院）

フランスと日本におけるモダンな簡潔——1920年代の「コント」

司会：山口裕之（東京外国語大学）

13:00-15:30

エクストラテリトリアルな文学——脱領域・脱構築・脱半球

今福龍太（東京外国語大学）／土田知則（千葉大学）／茅野裕城子（作家）

司会：巽孝之（慶應義塾大学）

15:45-18:45

翻訳について考える

澤田 直（立教大学） 愛を翻訳するとき、日本とフランスの間で

都甲幸治（早稲田大学）

教養主義の終りとハルキムラカミ・ワンダーランド——村上春樹の翻訳

金子奈美（東京外国語大学大学院）

バスク語文学における創作と翻訳

—— 文学作品における翻訳の表象をめぐる予備的考察

加藤ダニエラ（京都工芸繊維大学）

翻訳における自然の「トランスカルチャーレーション」——『方丈記』の英語訳

久野量一（東京外国語大学） キューバ作家の英語創作（司会）